

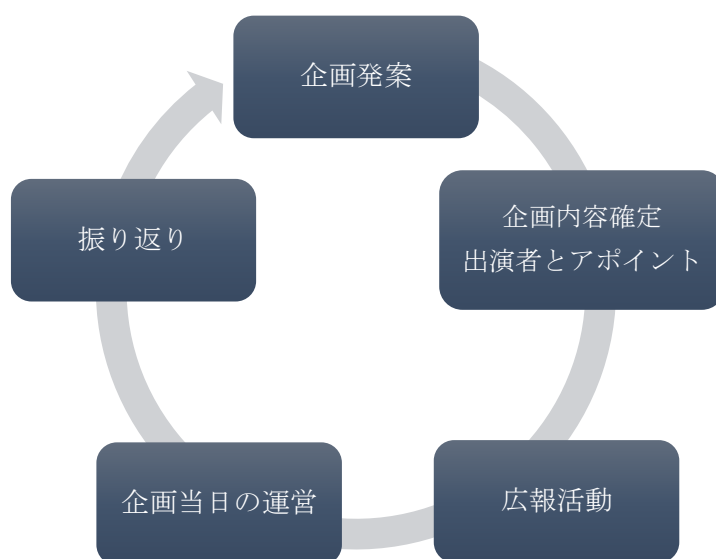
光葉キャリア塾

1. 光葉キャリア塾とは

光葉キャリア塾は2009年に設立され、「学生から学生に向けて」をモットーに昭和女子大学生のキャリア支援をしている学生団体です。主な活動は、メンターカフェ、内定者・本学OG・外部講師をお招きした講演会の企画、運営、広報活動を行っています。

2014年度前期の活動としては、本学OGにインタビューを行ってその内容まとめた冊子「そうだ OGに聞こう！」の作成・配布を行いました。

2. 企画・運営の流れ



「女子学生のための優良企業ランキング」企業評価作業参加メンバー

(3年)村松萌・寺嶋歌穂・佐藤綾香・小暮香奈

(2年)金子真実・上村恵理華・關真梨子・高木千華・田中美鈴・古川真子・笠原祐佳・松下知可

(1年)北千夏・小林亜莉佐・川野温子・富山佳奈・松波知実

以上、光葉キャリア塾より17名

はじめに

私たち光葉キャリア塾の学生は『CSR 企業総覧 2014 年版』（東洋経済新報社）に掲載の企業データ（「第 9 回 CSR 調査(雇用・人材活用編)」の結果）を基に、私たち（光葉キャリア塾の学生）が企業選びの際、何に注目するのか、働く上で大切なことは何かという点を議論しました。同調査の項目・データから、学生目線でみた優良企業の条件として 2 つの評価指標を作成し、それを用いて企業ランキングを行いました。

1. 企業評価の 2 つの指標

1) “チャレンジ指標”

この指標は、「両立しながらキャリアアップ」というコンセプトに基づき、従来のように仕事だけを視野に入れ昇進に猪突猛進するのではなく、家事や育児など家庭も大切にするという新しいキャリアアップ像に沿った指標です。このような視点で、「第 9 回 CSR 調査(雇用・人材活用編)」の項目から 8 項目を選び、より重要視した 5 つの評価項目にウェイトを付け加えました。

2) “ワークライフバランス指標”

この指標は、継続就業を希望する女子学生のための指標として、女性にとって働きやすい環境、収入を重視して、「第 9 回 CSR 調査(雇用・人材活用編)」の項目から以下の 7 つの評価項目を選びました。また、女性の社会進出や女性の自立を考える視点からより良い労働条件や賃金などに着目して、7 項目のうち 4 項目にウェイトを付け加えました。

ランキングの計算方法

- 1 選んだ評価項目のうち、数値化されたデータは以下のとおりランキングしました。
 - 1.1 「残業手当」は各企業の残業手当額を残業時間で割ることで、1 時間あたりに支給される残業手当を割り出しました。
 - 1.2 「離職率」以外の指標の数値を降順、「離職率」を昇順に、各業種の企業を並び替え、上位 10 社を算出しました。
- 2 選んだ評価項目のうち、数値化されていないデータは以下の通りに得点化しました。
 - 2.1 「資格取得支援制度」：専門的な知識や能力を伸ばし企業に還元するためだけでなく、TOEIC 等職業キャリアを通して活用できる資格取得支援を重要視し、内容を検討してランキングしました。

- 2.2 「保育手当・設備」：保育設備が整っている環境ならば、安心して仕事に集中することができるので、事業所内に託児施設が設置されていることを高く評価しました。保育待機児童が増加しているため、保育所を探す手間と時間が省ける点を、一時的な手当よりも重要視しました。
- 3 1、2によって計算されたすべての評価項目の上位10社を、1位→10点、2位→9点、3位→8点…と1点から10点に得点化し、重要視した項目にはウェイトを掛けました。
- 4 評価指標ごとに各項目の得点を合計し、その総合得点の高い企業順にランキングを行いました。

〈企業評価の指標〉

チャレンジ指標		ワークライフバランス指標	
項目名	重点5項目のウェイト	項目名	重点4項目のウェイト
従業員女性比率	—	従業員女性比率	—
女性離職率	—	女性離職率	—
管理職女性比率	5%	女性定着率	—
資格取得支援制度	20%	女性の勤続年数(2012年度)	40%
再雇用制度	5%	平均年間給与	30%
有休取得率	—	残業手当(1時間当たり)	20%
産休期間	30%	30歳平均賃金	10%
保育手当・設備	40%		

キャリアアップ (従業員女性比率, 女性離職率, 管理職女性比率, 資格取得支援制度)
 家庭との両立 (再雇用制度, 有休取得率, 産休期間, 保育手当・設備)
 継続就業 (従業員女性比率, 女性離職率, 女性定着率, 女性の勤続年数)
 賃金 (平均年間給与, 残業手当, 30歳平均賃金)

2. 優良企業ランキング

1)食料品業

①チャレンジ指標

総合トップ10にランキングした企業

順位	企業名	総合得点	評価項目別ランキング(順位)							
			従業員 女性比率	女性 離職率	管理職 女性比率	資格取得 支援制度	再雇用 制度	有給 取得率	産休期間	保育手当 ・設備
1	サントリーホールディングス	48.3		4	4	6	1		7	3
2	モロゾフ	37.6	2		9	4	1		6	
3	アサヒグループホールディングス	36.5		2			1	9	7	4
4	ニチレイ	35.7		10		1	1		7	6
5	キッコーマン	34.7	1				1	2	7	
6	キューピー	31.5	3				1		1	
7	日本ハム	29.7			1				7	1
8	味の素	29.5	8			7	1	5	7	
9	オーケー食品工業	29.0	4		5		1		7	
10	エスビー食品	27.2		3	10	9	1		7	
10	雪印メグミルク	27.2				10	1	6	5	

項目別トップ5にランキングした企業

項目名	1位	2位	3位	4位	5位
従業員女性比率	キッコーマン	モロゾフ	キューピー	オーケー食品工業	東洋水産
女性離職率 ¹⁾	J-オイルミルズ	アサヒビールホールディングス	・エスビー食品 ・サントリーホールディングス		カルビー
管理職女性比率	AFC-HDアムスライフサイエンス	塩水港精糖	カルビー	サントリーホールディングス	オーケー食品工業
資格取得支援制度	ニチレイ	ハウス食品	日清オイリオ	モロゾフ	江崎グリコ
再雇用制度 ²⁾	サントリーホールディングス 他				
有給取得率	キリンホールディングス	キッコーマン	JT	オエノンホールディングス	味の素
産休期間 ³⁾	キューピー	伊藤ハム	・森永乳業 ・不二家 ・雪印メグミルク		
保育手当・設備	日本ハム	明治	サントリー	アサヒグループ	JT

1)3位に2企業がランクインしているため、4位は空欄となっている。

2)再雇用制度の評価は有無で、有の場合同率1位となっている。モロゾフ、アサヒホールディングス、ニチレイ、他23企業が1位にランクインしている。

3)3位に3企業がランクインしているため、4・5位は空欄となっている。

②ワークライフバランス指標
総合TOP10にランキングした企業

順位	企業名	総合得点	項目別ランキング(順位)						
			従業員 女性比率	女性 離職率	女性 定着率	女性の 勤続年数	平均年間 給与	残業手当	30歳 平均賃金
1	味の素	35.9	8		1	3	2		
2	アサヒグループホールディングス	35.6		2		8	3	1	
3	キッコーマン	33.8	1		1		8		2
4	サントリーホールディングス	30.8		4			1	2	
5	アサヒ飲料	29.9		6	1			5	4
6	キリンホールディングス	29.4			1	5			1
7	エスビー食品	27.2		3	1			7	7
8	日清製粉グループ本社	25.7	10		1	7	4		
9	カルピス	21.2		9	1		9		5
10	J-オイルミルズ	20.0		1	1				

項目別トップ5にランキングした企業

項目名	1位	2位	3位	4位	5位
従業員女性比率	キッコーマン	モロゾフ	キュービー	オーケー食品工業	東洋水産
女性離職率	J-オイルミルズ	アサヒグループ ホールディングス	エスビー食品	サントリー ホールディングス	カルビー
女性定着率 ²⁾	味の素 他				
女性の勤続年数 (2012年度)	森永製菓	ハウス食品 グループ本社	味の素	JT	キリンホールディングス
平均年間給与	サントリー ホールディングス	味の素	アサヒグループ ホールディングス	日清製粉グループ本社	サッポロ ホールディングス
残業手当 (1時間当たり)	アサヒグループ ホールディングス	サントリー ホールディングス	日本ハム	昭和産業	アサヒ飲料
30歳平均賃金	キリンホールディングス	キッコーマン	森永乳業	アサヒ飲料	カルピス

1) キッコーマン、アサヒ飲料、キリンホールディングス他9企業が1位にランキングしている。

③考察

<チャレンジ指標>

食料品業の総合得点で見たランキング結果は、1位はサントリーホールディングス、2位はモロゾフ、3位はアサヒグループホールディングスと続きました。総合1位のサントリーホールディングスは、評価項目でトップ10入りした項目数が6項目と最も多く、そのうち2項目が上位3位にランクインしていました。総合2位のモロゾフを、3位のアサヒグループホールディングスと比較したところ、「産休期間」の順位が高いため、総合2位になりました。

総合4位のニチレイは評価項目のうち、「資格取得支援制度」と「再雇用制度」とで1位を獲得しています。ニチレイは、総合5位のキッコーマンと比べると、ランクインしている項目数が多いため、総合4位となりました。キッコーマンは「従業員女性比率」と「再雇用制度」で1位に、「有休取得率」で2位にランクインしており、総合5位になっています。総合6位のキューピーは「再雇用制度」と「産休期間」で1位、「従業員女性比率」で3位と、ランクインしている評価項目数は多くないものの、上位にランクインしているものが多いです。日本ハムは「管理職女性比率」、「保育手当・設備」で1位と、総合8位の味の素に比べて1位のランクイン数が多く、総合7位となっています。味の素は「再雇用制度」で1位を獲得し、その他4項目の計5項目でランクインしているため総合8位となっています。オーケー食品工業は「再雇用制度」で1位を獲得し、その他「管理職女性比率」、「産休期間」と、私たちが重要視してウェイトを付した項目でランクインしているため、総合9位となっています。エスビー食品工業は評価項目の「再雇用制度」で1位、「女性離職率」で3位を獲得し、その他計5項目にランクインしたことで、総合10位になりました。同じく総合10位の雪印メグミルクは、エスビー食品工業よりトップ10にランクインした項目は少ないものの、30%のウェイトを付した「産休期間」で5位にランクインしているため、同じ順位になりました。

総合トップ10に入った企業は、いずれかの評価項目で1位を獲得しています。

<ワークライフバランス指標>

食料品業のランキングの結果、1位味の素、2位アサヒグループホールディングス、3位キッコーマン、4位サントリーホールディングス、5位アサヒ飲料、6位麒麟ホールディングス、7位エスビー食品、8位日清製粉グループ本社、9位カルピス、10位J-オイルミルズとなりました。3位までの企業は7項目中4項目がトップ10入りしており、そのうち3項目がトップ3に入っていました。味の素は、ウェイトの比重が一番大きかった「女性の勤続年数」で3位にランクインし、加えてトップ10の企業のランクインが少なかった「従業員女性比率」でも8位にランクインしているため総合1位になったと考えられます。アサヒグループホールディングスは、「離職率」で2位にランクインし、またウェイトをかけた4項目のうち3項目でトップ10以内にランクインしているため総合2位になったと考えられます。3位のキッコーマンは、トップ10の企業のランクインが少なかった「従業員女性比率」で1位を獲得しています。

2)卸売業

①チャレンジ指標

総合トップ10にランキングした企業

順位	企業名	総合得点	評価項目別ランキング(順位)							
			従業員 女性比率	女性 離職率	管理職 女性比率	資格取得 支援制度	再雇用 制度	有休 取得率	産休期間	保育手当 ・設備
1	三菱商事	35.5				5	1		7	2
2	住友商事	34.7				1	1		7	6
3	三井物産	33.3					1		1	4
4	伊藤忠商事	32.9				6	1		7	3
5	丸紅	32.0		9		2			7	1
6	豊田通商	26.7				3	1		7	10
7	モスフードサービス	25.7			1			1	7	
8	協栄産業	22.7					1	4		
9	テクノアソシエ	22.4				4			1	
10	サンリオ	21.6	2		4				7	

項目別トップ5にランキングした企業

項目名	1位	2位	3位	4位	5位
従業員女性比率	タビオ	サンリオ	五洋インテックス	堀田丸正	アップルインターナショナル
女性離職率 ¹⁾	菱洋エレクトロ 他				
管理職女性比率	モスフードサービス	アゼアス	PALTEK	サンリオ	山大
資格取得支援制度	住友商事	丸紅	豊田通商	テクノアソシエ	三菱商事
再雇用制度 ²⁾	住友商事 他				
有休取得率	モスフードサービス	中央物産	加賀電子	協栄産業	佐鳥電機
産休期間 ³⁾	三井物産 他				
保育手当・設備	丸紅	三菱商事	伊藤忠商事	三井物産	長瀬産業

1) 横浜魚類、バイタルエスケー・ホールディングス他3企業が1位にランキングしている。

2) 再雇用制度の評価は有無で、有の場合同率1位となっている。三菱商事、三井物産、伊藤忠商事他11企業が1位にランクインしている。

3) 産休期間は、産前6週産後8週の法定よりも長いものを上位に設定。産前8週産後8週のテクノアソシエ、JALUX他3企業が1位にランクインしている。

②ワークライフバランス指標
総合トップ10にランキングした企業

順位	企業ランキング	総合得点	評価項目別ランキング(順位)						
			従業員 女性比率	女性 離職率	女性 定着率	女性の 勤続年数	平均年間 給与	残業手当	30歳 平均賃金
1	三菱商事	41.8				1	1	6	3
2	住友商事	40.9			1		4	2	1
3	三井物産	33.0			1	2	3		
4	丸紅	26.7		9		6	5		2
5	双日	23.8					6	3	4
6	山下医科器械	22.0			1			1	
7	タビオ	20.0	1		1				
8	菱洋エレクトロ	20.0		1	1				
9	横浜魚類	19.8		1		4			
10	極東貿易	18.4				3		5	

項目別トップ5にランキングした企業

項目名	1位	2位	3位	4位	5位
従業員女性比率	タビオ	サンリオ	五洋インテックス	堀田丸正	アップル インターナショナル
女性離職率1)	菱洋エレクトロ 他				
女性定着率2)	住友商事 他				
女性の勤続年数 (2012年度)	三菱商事	三井物産	極東貿易	横浜魚類	日立ハイテクノロジーズ
平均年間給与	三菱商事	伊藤忠商事	三井物産	住友商事	丸紅
残業手当(1時間当たり)	山下医科器械	住友商事	双日	オートバックスセブン	極東貿易
30歳平均賃金	住友商事	丸紅	三菱商事	双日	長瀬産業

1)日本精機、ティアド、いすゞ自動車他14企業が1位にランキングしている。

2)4位に2企業ランキングしているため、5位は空欄となっている。

③考察

<チャレンジ指標>

卸売業の総合得点で見たランキング結果は、1位は三菱商事、2位は住友商事、3位は三井物産と続きました。総合1位の三菱商事では、評価項目全8項目中、2項目がトップ3に位置し、特に私たちが企業を評価する上で重視し、高いウェイトを付した「保育手当・設備」が、2位にランクインしています。総合2位の住友商事は評価項目のうち「再雇用制度」と「資格取得支援制度」で1位を獲得しています。一方、3位の三井物産は「再雇用制度」と「産休期間」で1位を獲得しています。

総合4位の伊藤忠商事は、評価項目中、「再雇用制度」で1位、「保育手当・設備」で3位を獲得しています。丸紅は、私たちが重要視してウェイトを付した項目中で、ウェイトが40%と最も重い「保育手当・設備」で1位を、そしてウェイトが20%の「資格取得支援制度」で2位を獲得していることから、総合5位になりました。総合6位の豊田通商は、評価項目中「再雇用制度」で1位、「資格取得支援制度」で3位を獲得しています。総合7位のモスフードサービスは、評価項目中「有休取得率」と「管理職女性比率」でどちらも1位を獲得しています。総合8位の協栄産業は、評価項目全8項目中2項目のみトップ10にランクインしましたが、「再雇用制度」で1位を、「有休取得率」で4位を獲得しています。テクノアソシエは、総合8位の協栄産業と同様、評価項目全8項目中2項目のみトップ10にランクインしましたが、ウェイトが30%と重い「産休期間」で1位を獲得し、「資格取得支援制度」でも4位に入り、総合で9位になりました。総合10位のサンリオは、評価項目の「従業員女性比率」で2位、「管理職女性比率」で4位を獲得しています。

三菱商事から丸紅までの上位5位以内にランキングされた大手総合商社では、私たちが重要視してウェイトを付した評価項目のうちいずれか2項目が1位～3位にランクしていることが共通しています。

<ワークライフバランス指標>

“ワークライフバランス指標”のランキングは、1位三菱商事、2位住友商事、3位三井物産、4位丸紅、5位双日、6位山下医科機器、7位タビオ、8位菱洋エレクトロ、9位横浜魚類、10位極東貿易でした。三菱商事は、ウェイトを掛けた4項目すべてでトップ10入りしており、加えてウェイトの高い「勤続年数」で1位になっているほか、「平均年間給与」でも1位にランクインしたので、総合1位になったと考えられます。2位の住友商事は、ウェイトを掛けた4項目のうち3項目がトップ10入りしているほか、「定着率」でも1位になっています。三井物産は、ウェイトを掛けた4項目のうち2項目でトップ3入りしており、ウェイトが一番高い「勤続年数」で2位になっているほか、「定着率」で1位を獲得し、総合3位にランキングされました。

3) 輸送用機器業

① チャレンジ指標

総合トップ 10 にランキングした企業

順位	企業名	総合得点	評価項目別ランキング(順位)							
			従業員 女性比率	女性 離職率	管理職 女性比率	資格取得 支援制度	再雇用 制度	有休 取得率	産休期間	保育手当 ・設備
1	日産自動車	42.6			1	1	1	8	7	10
2	トヨタ紡織	38.7	7				1		1	3
3	マツダ	38.1			3		1		7	1
4	デンソー	36.1	9			5	1		7	3
5	エクセディ	33.5		6	6				1	8
6	曙ブレーキ工業	33.2	4	5	2		1	9	7	
7	トヨタ自動車	32.3					1	7	7	2
8	豊田自動織機	29.9					1	8	7	3
9	アイシン精機	29.2				4		1	7	7
10	タツミ	25.8	10	1		3			7	

項目別トップ 5 にランキングした企業

項目名	1位	2位	3位	4位	5位
従業員女性比率	日本精機	東海理化	ケーヒン	曙ブレーキ工業	田中精密工業
女性離職率 ¹⁾	タツミ 他				曙ブレーキ工業
管理職女性比率	日産自動車	曙ブレーキ工業	マツダ	ジヤトコ	大同メタル工業
資格取得支援制度	日産自動車	トピー工業	タツミ	アイシン精機	デンソー
再雇用制度 ²⁾	日産自動車 他				
有休取得率	アイシン精機	ホンダ	ケーヒン	ダイハツ工業	ショーワ
産休期間 ³⁾	トヨタ紡織 他				ニチユ三菱フォークリフト
保育手当・設備 ⁴⁾	マツダ	トヨタ自動車	トヨタ紡織 他		

- 1) 1位に他3企業がランクインしているため2・3・4位は空欄となっている。
 2) 再雇用制度の評価は有無で、有の場合同率1位となっている。トヨタ紡織、マツダ、デンソー他13企業が1位にランクインしている。
 3) 産休期間は、産前6週産後8週の法定よりも長いものを上位に設定。1位にトヨタ紡織他3企業がランクインしているため、2・3・4位は空欄となっている。
 4) 3位にトヨタ紡織他3企業がランクインしているため、4・5位は空欄となっている。

②ワークライフバランス指標
総合トップ10にランキングした企業

順位	企業名	得点	評価項目別ランキング(順位)						
			女性 離職率	従業員 女性比率	女性 定着率	女性の 勤続年数	30歳 平均賃金	残業手当	平均年間 給与
1	トヨタ自動車	34.7					1	1	2
2	日本精機	33.8		1	1	2		10	
3	ケーヒン	28.6	8	3		1		8	
4	ホンダ	26.7					6	2	3
5	日産自動車	26.1			1			3	6
6	デンソー	24.9		9			2		1
7	曙ブレーキ工業	24.1	5	4				5	8
8	豊田自動織機	22.6			1			7	5
9	ヤマハ発動機	21.1			1	5			10
10	ティラド	19.8			1	4			

各項目別トップ5にランキングした企業

項目名	1位	2位	3位	4位	5位
従業員女性比率	日本精機	東海理化	ケーヒン	曙ブレーキ工業	田中精密工業
女性離職率	安永	タツミ	フジオーゼックス	桜井製作所	曙ブレーキ工業
女性定着率 ¹⁾	日産自動車 他				
女性の勤続年数 (2012年度) ²⁾	ケーヒン	日本精機	田中精密工業	・ティラド ・ヤマハ発動機	
平均年間給与	デンソー	トヨタ自動車	ホンダ	いすゞ自動車	豊田自動織機
残業手当 (1時間当たり)	トヨタ自動車	ホンダ	日産自動車	富士重工業	曙ブレーキ工業
30歳平均賃金	トヨタ自動車	デンソー	ショーワ	極東開発工業	川崎重工業

1) 日本精機、ティラド、いすゞ自動車他14企業が1位にランキングしている。
2) 4位に2企業ランキングしているため、5位は空欄となっている。

③考察

<チャレンジ指標>

輸送用機器業の総合得点で見たランキング結果は、1位は日産自動車、2位はトヨタ紡績、3位はマツダと続きました。総合1位の日産自動車は、評価項目全8項目中、「管理職女性比率」、「資格取得支援制度」、「再雇用制度」の3項目で1位にランクインし、これらを含めトップ10入りした項目数(6項目)が最も多い企業の一つでした。総合2位のトヨタ紡績は評価項目の「再雇用制度」と「産休期間」で1位を獲得しています。また、トヨタ紡績は、トヨタ自動織機・トヨタ車体・デンソー・ジェイテクトも含めたトヨタグループ賛同5社として、株式会社タッチケアを共同設立し、社員向け託児所を運営・管理しています。その他、総合3位のマツダは「再雇用制度」と「保育手当・設備」で1位を獲得しています。2位のトヨタ紡績と比較したところ、評価項目全8項目中、どちらも3項目ずつトップ3入りしています。しかし、そのトップ3入りした評価項目の中で、私たちが企業を評価する上で重視し、ウェイトを付した評価項目の数が異なるため、マツダは総合3位になりました。総合4位のデンソーは、評価項目全8項目中、5項目でトップ10にランクインしました。そのうち、「再雇用制度」では1位を、「保育手当・設備」では3位を獲得しています。総合5位のエクセディは、私たちが重要視してウェイトを付した項目の一つで、30%のウェイトを付している「産休期間」で1位を獲得し、得点を伸ばしました。6位の曙ブレーキ工業は、1位の日産自動車と同様、評価項目全8項目中6項目でトップ10にランクインしていません。その上、「再雇用制度」では1位を、「管理職女性比率」では2位を獲得しています。総合7位のトヨタ自動車は、「再雇用制度」で1位を獲得し、私たちが重要視してウェイトを付した項目中で、ウェイトが40%と最も重い、「保育手当・設備」で2位を獲得しています。豊田自動織機は、評価項目中「再雇用制度」で1位を、「保育手当・設備」で3位を獲得したことから総合8位になりました。総合9位のアイシン精機は、評価項目の「有休取得率」で1位を獲得し、得点を伸ばしました。タツミは評価項目の「女性離職率」で1位を獲得し、ウェイトを20%付している「資格取得支援制度」で3位を獲得していることで得点を伸ばし、総合10位になりました。

<ワークライフバランス指標>

“ワークライフバランス指標”の総合得点で見たランキング結果は、1位トヨタ自動車、2位日本精機、3位ケーヒンと続きました。総合1位のトヨタ自動車は、評価項目全7項目中、ウェイト付した項目である「30歳平均賃金」、「残業手当」の2項目で1位、「平均年間給与」で2位を獲得しています。日本精機は、「従業員女性比率」と「定着率」1位を獲得し、ウェイトの1番重い「女性の勤続年数」で2位を獲得し、総合2位になりました。ケーヒンはウェイトを40%付した「女性の勤続年数」で1位を獲得し、総合トップ10企業のランクインの少ない評価項目「従業員女性比率」で3位を獲得し、総合3位になりました。